

# 園芸療法シンポジウムのご案内

平成30年度国産花きイノベーション推進事業

神奈川県では、平成26年度より、**園芸療法**を活用した福祉施設での**園芸体験モデル事業**を展開してきました。

施設スタッフへのアンケートでは、99%の方が良い影響があるとし、特に心理的な影響について効果を実感されています。

本シンポジウムでは、事業実施施設から実施状況や感想についてご報告いただくとともに、5年目の節目として、これまでの取り組みを振り返ります。また、施設で園芸活動を長く継続していくにあたっての課題について考えていきます。

## ● 園芸療法とは

植物を育てる園芸作業は、毎日の水やりなど植物を世話し、成長を助ける関係性の中で、人の心や感情に、自信や達成感、期待、喜び等の刺激を与えます。この刺激を、リハビリや福祉、教育、レクリエーション等に上手く利用します。手先を動かすことで、運動機能の働きにも刺激を与えます。

## ● 園芸体験モデル事業について

高齢者福祉施設等で、園芸療法士の指導により、県内で生産された花苗を使って寄せ植えを作成し、咲いた花で押し花と作品を作ります。5年間で28施設が参加しました。

(国産花きイノベーション推進事業(国庫)を活用しています)



■ **主催** 神奈川県花き・植木振興地域協議会

■ **後援** NPO法人日本園芸療法研修会

## ■ 開催概要

日時：平成31年2月26日(火) 13:00～16:30(受付12:30～)

場所：ワークピア横浜 3階「かもめ・やまゆり」

〒231-0023 横浜市中区山下町24-1 TEL 045-664-5252

\*みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口より徒歩5分

参加費：**無料** (どなたでもご参加いただけます)



## ■ プログラム(予定)

総括コメンテーター NPO法人日本園芸療法研修会 代表理事 澤田みどり氏

○ 園芸体験モデル事業について(県農業振興課)

○ 平成30年度モデル事業実施施設からの報告(高齢者施設5施設)

○ 平成29年度モデル事業からの発展事例「2年間の園芸療法を通して得られたこと」

介護老人保健施設相模原ロイヤルケアセンター 作業療法士 熊谷菜々氏

○ 総合討論「福祉施設で園芸活動を継続するためにはどうしたらよいか」

## ■ 申し込み方法

裏面の申込書により、FAXまたはメールで、2月21日(木)までにお申し込みください。申込書はホームページ(<http://www.kanagawa-enkyo.jp>)からもダウンロードできます。